



尾張旭ロータリークラブ

Weekly

「例会は親睦なり、深めよう親睦！」

・会長 井田 武憲  
 ・幹事 桜井 雅博  
 ・会報 占橋 裕志  
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945  
 E-mail : owariasahi@mteki-globe.ne.jp  
 URL : http://www.owariasahi-rc.jp/

ふれあい、思いやり、そして握手

本日 第2035回 2012年11月16日(金) No. 1925

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

ロータリーソング「我等の生業」

卓話担当者:プログラム委員会

卓話者:名古屋経営短期大学

渡辺 琢也様、近藤 城史様

演 題:「東北ボランティア事業報告」

前 回 第2034回 2012年11月9日(金) 記 録

- 齊 唱:「それでこそロータリー」
- ゲスト:RI第2760地区 地区補助金委員長 松尾憲二郎君
- 来訪者:名古屋城北RC 多田 通夫君  
名古屋城北RC 岩田 佳之君
- 出席者:会員29名中20名出席 出席率68.96%  
前々回補正出席率は10月26日分96.55%

会長あいさつ 井田 武憲

11月4日(土)に本地原校区の自主防災訓練が実施されました。ちょうど町内の組長という立場で参加しました。

まず、防災無線(防災無線支局・10施設)による公報が発令され「一時避難所」に集合し、参加者名簿で出欠の確認と欠席者の安否確認がありました。その後各自持参の非常持ち出しの防災用品の点検、用品の使用説明があり、仮想のけが人の応急手当訓練をしました。続いて、地震災害・風水害の指定避難所の本地原小学校へ移動し、到着後、煙道テント内の歩行、救護訓練(応急担架、三角布の使用法)初期消火訓練、(水消火器による消火器の使用法・バケツリレー)の実施指導を受け、最後に炊き出しによる給食(米飯・レトルトカレー)が配布され閉会となりました。

この訓練には、約400名の参加者があり、今後東海地方でも起こり得るといわれる大災害に対しての心構えがこの様な訓練によって少しでも意識づけや自覚ができたかなと思います。有意義な訓練であったことを報告します。



△地区補助金委員長 松尾憲二郎君(左) 谷口R財団委員長

ロータリー財団月間

	11月23日(金・祝)	11月30日(金)	12月 7日(金)	12月15日(金)
例会予定	法定休日のため休会	卓話担当者:高島 昇君 卓話者:版画講師 水野 アー様 演 題:「版画の楽しさ」	年次総会 クラブフォーラム 卓話担当者:会員増強委員会 演 題:「未定」	14日(金)振替 年忘れ家族会 於 ヒルトン名古屋 4F 櫻 点鐘 18:00
3分間スピーチ	—	井田 武憲君	大野 良之君	—

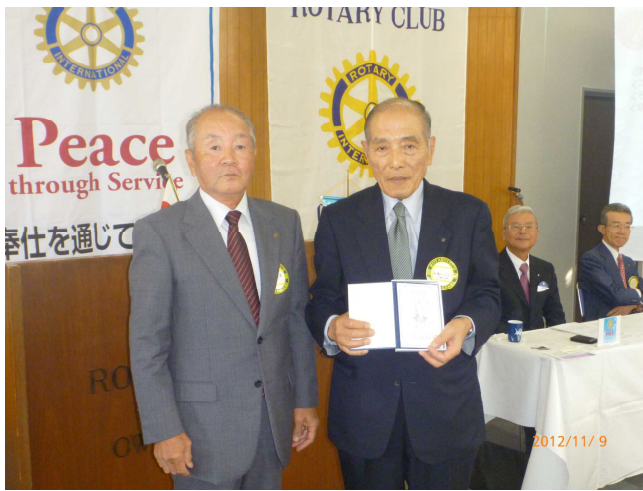
## インターテイミング`PR

IM

2013年2月9日(土)  
名古屋マリオットアソシアホテル  
PRの多田通夫君  
(右)と岩田佳之君  
(名古屋城北RC)



## 米山記念表彰



△第7回目の米山功労者の大嶋一二三君(右)

## 幹事報告

- ・本日の会合：第4回クラブ協議会
- ・次回の会合：なし
- ・例会変更のお知らせ：別紙。

## ニコボックス

○ロータリー財団月間で、財団の卓話をさせていただきます。日頃財団にご協力ありがとうございます。小牧RC 松尾憲二郎君

○本日はお世話になります。IMのPRに寄らせていただきました。よろしく願いいたします。

名古屋城北RC 多田 通夫君、岩田 佳之君

○卓話に地区補助金委員長 松尾憲二郎君をお迎えしました。よろしく願いいたします。

谷口 伸夫君、井田 武憲君、桜井 雅博君

大嶋一二三君、加藤 清久君、唐井 仁一君

古橋エツ子君、古橋 裕志君、森井 晴生君

○名古屋城北RC多田様、内田様をお迎えして。

山田 直樹君

○唐井さんの3分間スピーチ、楽しみにしています。古橋 裕志君

○病院の消防訓練があるので、早退させていただきます。舟橋 龍秀君

## 第4回クラブ協議会報告

日時 2012年11月9日(金) 13:40～

場所 尾張旭市商工会館 第一会議室

議題 1) 進捗状況について。

### ・新世代奉仕委員会

9月実施されたボランティア活動報告会を11月17日開催します。そのほか、委員会の様々な行事、順調に推移しています。また、新しい行事のアイデアがありましたら、是非、ご進言方。

### ・会場監督S・A・A・出席委員会

予算順調に消化しています、1月には、新しいアイデアで運営をはかります。

### ・ニコボックス委員会

昨年に比較し3割程度多く集まっています。この状態を維持し、奉仕基金に寄与します。

### ・広報委員会

ロータリーの友、各所の配布順調です。

### ・プログラム委員会

幹事を中心に、行事は順調に消化されています。

### ・親睦活動委員会

予算は、ほぼ計画通り消化しています。残り、家族会、旅行等残していますので、配分を考えて消化してゆきたいと考えています。

### ・財務委員会

全体に執行状況に差異はありません、さらにニコボックスの充実を願います。

### ・会員増強委員会

現在、会員増強のパンフレットを作っています。出来ましたら、来月の増強月間にあわせ、各会員、勧誘配布をお願いする次第です。

### ・会員選考委員会

9月、新人研修をいたしました。新しいロータリーの研修用冊子が出来ていますので、購入を検討しています。期間内、もう一度研修を考えています。

### ・ロータリー財団委員会

今月は財団月間です、寄付の方をよろしくお願ひします。

### ・桜井幹事

さらに、パソコン教室を充実、各事業は順調です。

会員の動向、大竹君、健康状態は、ほぼ回復基調です。松原君、連絡を取りつつ推移を見守っています、水野君、6カ月の期間延長、理事会にて承認されています。

2) その他

### ・井田会長

今年度のガバナー方針、「他地区と交流」に則り、我クラブ、安城ロータリーとの交流、近々、会長、幹事中心に皆さんと訪問したいと考えています。

安城RC交流例会の訪問は12月14日(金)です。例会会場は碧南信用金庫 どなたでも参加できます。

# 卓 話

## ロータリー財団 未来の夢計画について 補助金委員長 松尾憲二郎



11月はロータリー（R）財団月間です。このたび尾張旭RCにてR財団の未来の夢計画について卓話をさせていただきます。

現在 当2760地区はR財団未来の夢計画のパイロット地区に選定され最後の3年目に入っています。来年度田中年度より全世界のRCで「未来の夢計画」が実施に移ります。そのテスト地区として世界で100地区が選定された1つが当2760地区です。

これからR財団未来の夢計画について説明させていただきます。

R財団は創設第2世紀に向けてプログラムが大きく変更になりました。その新しい制度は「未来の夢計画」と呼ばれます。その目的は次のようです。

- 1、財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- 2、ロータリアンが関心を寄せる世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の効果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- 3、世界的目標と地元の目標の両方を果たすための資金を提供すること。
- 4、意思決定権をさらに地区とクラブに移行することにより、地区レベルとクラブレベルでR財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- 5、R財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。

以上のような野心的目標となっています。

今年度 当地区R財団委員会の目標は 未来の夢計画の目的に沿って

- 1、ポリオを撲滅する。又、友人や隣人、そして世界に向けてポリオの撲滅まで「あと少し」であることを伝えること。
- 2、全世界で実施される未来の夢計画の準備を整えること。未来の夢計画はすべての地区・クラブに変化をもたらします。

3、R財団の教育的プログラムと人道的プログラムへの参加を通じて 世の平和を育むこと。

4、そのため、R財団への寄付を全ロータリアンにお願いすること。

5、地区とクラブはR財団の資金をしっかりと守ること。

以上のような地区委員会の目標です。

では、未来の夢計画でクラブにとって何が変わるのか、

- 1、管理がクラブ主体に変わる。（計画、実施、報告、資金）
- 2、自立・自主的判断・裁量がクラブに移行される。
- 3、結果として、クラブの責任の重さが増す。
- 4、より専門職の知識が要求される、（グローバル補助金）
- 5、一人のリーダーよりチームへの移行。
- 6、IT管理力の負担が増す。（申請、問い合わせ・質問、報告がパソコンで）

以上のような変化が見られます。

又、未来の夢計画での良い点は、

- 1、地区・クラブの裁量が増す。（特に新地区補助金で）
- 2、奉仕活動の解釈基準が低くなる。（地区の裁量権で）
- 3、新地区補助金事業のクラブ負担額に対し当地区は補助金を50%支給。
- 4、最大R財団の寄付金額の75%、又は100%の使用も可能。

（新地区、グローバルの各補助金、パッケージグラントを使って可能）

- 5、地区補助金の増額により補助金を用いた奉仕活動額が増額できる。
- 6、その為には、年次寄付、大口寄付、恒久基金への寄付金の増額が必要。
- 7、補助金の活用でロータリアンのクラブ意識の高揚が図れる。

一方、負担の点（負の面）では

- 1、より専門職の力が必要となる。（グローバル補助金にて）
- 2、グローバル補助金は英語での申請が有利。（日本語でも可能）
- 3、グローバル補助金では重点6分野に限定された活動となる
- 4、職業研修チームの派遣には相手国の理解が必要である

（GSEチームの派遣のような国際親善主体ではない）

5、簡素化の意味を取り違えないこと。単に、申請、相談、報告等がIT化されただけである。

次に 資金の流れについて説明いたします。

R財団未来の夢計画では、3年前の年次寄附額と恒久基金の運用利息の合計額をシェアシステムで地区に50%、R財団に50%に分けます。地区の50%の資金を地区活動資金（DDF）といい、その半分25%を新地区補助金に、残り25%をグローバル補助金に使います。財団に残る50%を世界活動資金（WF）といい、グローバル

補助金への同額マッチング（25%）、世界平和センターの運営費、ポリオ、パッケージグラント等の世界的なR財団の奉仕活動の資金となっています。

その財団の活動の元になるのが 年次寄付金、大口寄付金、恒久基金、その他用途指定寄付金の寄付金です。ロータリアン一人一人の寄付金がR財団の活動資金に大きな影響を与えます。

最近の2760地区の1人当たり年次寄付額は02-03年度（岡部年度）75ドルから毎年増加し10-11年度（田嶋年度）は140ドルとなり、前年度11-12年度は少し下がった138ドルとなっています。今年度は田中R I会長に協力して150ドルの地区目標となっています。お願いの書類が千田ガバナーから各クラブ会長あてに出しておりますので、ご協力をお願いいたします。

尾張旭RCでは前年度1人当たり年次寄付175.16ドル、年次寄付額5079.57ドル、用途指定寄付2084.51ドル合計7164.08ドルのご寄付をさせていただいております。心より御礼申し上げます。今年度は是非とも地区の目標を目指してご協力をお願い申し上げます。

では 資金を利用する補助金について説明いたします。補助金には、新地区補助金とグローバル補助金の2つがあります、新地区補助金は、地区の裁量のもと各クラブ・地区委員会がR財団の一定の基準を満たせばほぼ利用できる大変使い勝手の良い補助金です。パイロット地区の1年目52クラブ（170,565ドル）、2年目62クラブと奨学委員会の63件（168,150ドル）、今年度3年目59クラブ（155,392ドル）と新地区補助金を利用した事業を地区内3分の2以上のクラブが実施し、クラブの活性化に繋げておられます。尾張旭RCでは次年度も新地区補助金のご利用をお願いいたします。

2年間の新地区補助金の最終報告書から見えてきた問題点を述べます。

1、クラブの申請事業に変更が生じた時、必ず補助金委員会に連絡を取り、その了解のもとで事業の変更を行うこと。

2、新地区補助金支給の基本ルールに反する「単なる寄付金事業」「他団体が主催する事業にRCが単に相乗りしただけの事業」は適用外。

3、補助金事業の実施で、支給補助金額に対してクラブの負担額が大きく少ないのは問題が生じる。次年度から地区の規定を定め、クラブの負担額は支給補助金額以上とするように変更する。基準以下の時は補助金の一部返還を求める。

4、最終報告書には地区委員会が求める必要資料をもれなく添付する。必要資料の不足のクラブが多い。

5、クラブにより補助金専用口座から新地区補助金、クラブ負担金の全額を事業の別の専用口座に、あるいはクラブの口座に移し事業を実施しているクラブが11-12年度、2クラブあった。この点は間違いであり、必ず補助金専用口座からすべての支出を行うこと。

以上 問題点は出ておりますが、全般としては

各クラブがしっかりとルールを厳守して実施されております。今年度は各クラブとも以上のような問題が生じないようお願いいたします。

グローバル補助金はR財団が指定した重点6分野の事業が対象で、WFとのマッチングで3万ドル以上の大型のプロジェクトで、R財団が1件ごとに、申請書を審査して補助金の可否を決定しております。今後は、このグローバル補助金事業を地区として重点的に取り組みたいと考えております。各クラブからの提案を待っています。

## 世界でよいことをするために

### ロータリー財団に貢献するロータリーカード

国際ロータリーでは、よりよき世界のためにクレジットカード・プログラムを実施しています。このカードを使って買い物をすると、その金額の0.3%が会員の負担なしでロータリー財団に寄付されます。さらに、ゴールドカードの場合は年会費のうちの3,000円が財団に寄付されます。2000年にアメリカで初めて導入されたロータリーカードはそのほかの国でも導入されるようになり、現在はポリオ撲滅活動に役立てられています。

日本で発行されているロータリーカードには、年会費10,500円の「Gold MasterCard」と年会費無料の「Standard MasterCard」の2種類があります。

買い物はもちろん、年会費無料のETCカードや、公共料金の支払いなど、ロータリーカードは、さまざまシーンで利用できます。さらに、ロータリー財団への支援だけでなく、カード所有者本人にも特典が付き、「暮らスマイル」ポイントがたまるプログラムにも参加で、1,000ポイントが5,000円分として、個人の年次寄付に交換可能です。

ロータリアンの多くは既に複数のクレジットカードをもっていて、これ以上は不要と言われる方も多いためです。付き合っただけで、使っていないという方もいらっしゃるでしょう。

例えば、国際大会の登録や宿泊の予約、姉妹クラブ訪問や海外への奉仕活動に出かけるための旅費など、ロータリーのことで出かけるときは、ロータリーカードで支払いをするというのはいかがでしょうか。皆さまの奉仕がよりいっそう大きなものとなります。

—2009年11月ロータリーの友より—

お申込み用紙は尾張旭RC 事務局にありますので、ご連絡下さい。



尾張旭市の  
イメージキャラクターの  
「アサヒー」です

